



天文台だより

銀河の森天文台
2021 冬号
Vol.90

新規イベント及び展示のご紹介



ハロウィンイベントで顔出しパネルを楽しむ子供たち



☆ラインストーンキット

1. さそり座
2. 北斗七星
3. オリオン座
4. はくちょう座・こと座
5. カシオペヤ座



今号では、今年度新規に始めたイベントや展示、リニューアルした展示を紹介します。

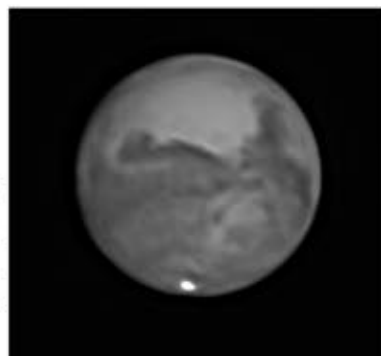
まずは雨の日企画として、「ラインストーンで星座を作ろう！」イベントの紹介です。こちらは、土日・祝日のみの限定企画ですが、開館時間に陸別町の天気予報で降水確率が50%以上の時に実施する企画です。5種類のラインストーンキットから好きなものを選び、ラインストーンを星に見立ててハガキ大の用紙に貼り付け、星座を作ります(左下写真)。

次に顔出しパネルの紹介です。左の写真にあるとおり、天文台展示室に顔出しパネルを設置しました。しばれ君、つららちゃん、そして土星になれる顔出しです。顔のフタもあるので誰と一緒に写るかは好み次第です。

また、南極昭和基地からのライブ中継が新しくなりました。昨年度までは、1地点のみの中継でしたが、今年度からは5地点の画像が順番に配信され、さらに画質もフルハイビジョン画質で表示できるようになりました。タイミングが合えばオーロラが映っていることも！ぜひ、ご来館ください。

準大接近した火星を観測！

2020年10月6日に地球と6,207万kmまで接近し、話題となった火星を観測しました。2年前の接近時は火星の砂嵐の影響でぼんやりしていた地形の様子が今回はキレイに見えていました。



お帰り！「はやぶさ2」冬のイベント情報！！

6年の旅を終え帰ってきた小惑星探査機「はやぶさ2」を観測しました。右の画像の線で写っているのが「はやぶさ2」です。

「はやぶさ2」は小惑星「リュウグウ」の試料入りカプセルを地球に届け、新たな旅に出発しました。



2020年12月6日 1:55 (JST)

☆2020年度銀河の森天文台写真展

銀河の森天文台で撮影した最近1年の写真を展示します。合わせて、皆様が最近1年で撮影された天体写真を公募し展示します。詳しい応募方法は天文台HPをご覧ください。

募集期間：2021年1月6日(水)～2月28日(日)

展示期間：2021年3月5日(金)～21日(日)

暦表

(陸別町)

	日の出	日の入	月齢	月の出	月の入
1月 1日	6:54	16:03	17.4	17:52	8:41
1月 15日	6:51	16:18	1.9	8:30	18:21
2月 1日	6:38	16:40	18.9	20:27	8:52
2月 15日	6:20	16:59	3.3	8:15	20:27
3月 1日	5:58	17:17	17.3	19:25	7:19
3月 15日	5:34	17:34	1.7	6:40	19:17

「オーロラウィーク2021」開催中止のお知らせ

2月3日(水)～14日(日)に開催を予定していましたがイベント「オーロラウィーク2021」ですが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催中止となりました。

安心安全を最優先に考えての決定に何卒ご理解をいただきますようお願い申し上げます。

天文行事&暦

1月

- 12/28-1/5 天文台休館日
- 3 しぶんぎ座流星群が極大
(PM11時 最大30個/時)
- 5 小寒(24節気:太陽黄経285°)
- 13 ●新月
- 20 大寒(24節気:太陽黄経300°)
- 24 水星が東方最大離角
(光度:-0.6等, 離角:18.6°)
- 29 ○満月

2月

- 3 立春(24節気:太陽黄経315°)
- 12 ●新月
- 18 雨水(24節気:太陽黄経330°)
- 27 ○満月

3月

- 5 啓蟄(24節気:太陽黄経345°)
- 6 水星が西方最大離角
(光度:0.2等, 離角:27.3°)
- 13 ●新月
- 5-21 2020年度銀河の森天文台写真展
- 20 春分(24節気:太陽黄経0°)
- 29 ○満月

2021年太陽系天体みどころカレンダー

★黒線期間が見頃の時期、点線期間は短時間ですが見える時期になります
●:新月 ○:満月

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
月	●13 ○29	●12 ○27	●13 ○29	●12 ○27	●12 ○26	●10 ○25	●10 ○24	●8 ○22	●7 ○21	●6 ○20	●5 ○19	●4 ○19
太陽	晴れていれば館内で、太陽望遠鏡で撮影した現在の太陽の映像を見ることができます。											
水星												
金星												
火星												
木星												
土星												
天王星												
海王星												

天文台開館中、太陽系の天体たちが見頃となる時期をカレンダーにまとめました。

2021年は月食が2度起きます。5月26日は皆既月食とスーパームーンが重なり、大きな満月が地球の影に隠れる様子を観察できます。11月19日の部分月食も、最大時には月のほとんどが影に覆われる食分の大きな月食です。今年の中秋の名月は9月21日で、満月です。

赤く輝く火星は、春先までが見頃です。金星は3月26日に外合を迎え、宵の明星へと移り変わる5月末から望遠鏡で観察できます。8月上旬からは土星、下旬からは木星が見頃を迎え、秋にかけて2大ガス惑星の美しい姿を楽しめます。9月は更に昼間は水星、暗くなると海王星、閉館前には天王星が観察でき、1日で6つの惑星を見ることができます！

望遠鏡で、肉眼で、今年もたくさん空を見上げましょう。みなさまのご来館をお待ちしています！

ペッコカめぐり「国際宇宙ステーション」

国際宇宙ステーション(ISS)は、約アメリカ、ロシア、日本、カナダ、欧州宇宙機関が協力して運用している巨大(サッカーのフィールドと同じくらい)な有人実験施設です。そこでは宇宙でなければできない様々な実験が行われています。国際宇宙ステーションは上空約400kmを1周約90分というスピードで地球の周りをまわっています。なぜそんな速いスピードで回っているのかというと、その速さでなければ地上に落ちてしまうからです。逆に速すぎると地球から離れていってしまいます。

さて、この天文台だよりが発行される頃、国際宇宙ステーションに日本人宇宙飛行士が滞在していることはご存じでしょうか？昨年11月にスペースX社のクルードラゴン宇宙船で国際宇宙ステーションへ行った野口聡一さんです。国際宇宙ステーションは、JAXAのWebサイト「きぼう」を見ようなどで、いつ見ることができるかを調べることもできます。



国際宇宙ステーションに搭乗している野口さんに向かって、手を振ってみませんか？ (中)

天文台からのお知らせ

☆ 12月28日(月)~1月5日(火)の期間は、天文台休館日となります。

発行・編集：りくべつ宇宙地球科学館(銀河の森天文台)
〒089-4301 北海道足寄郡陸別町宇遠別 TEL: 0156-27-8100
URL: <https://www.rikubetsu.jp/tenmon/index.html>
E-mail: ginga@rikubetsu.jp Twitter: @ginganomori_obs

